

第3学年 中学校音楽科 学習構想案

日 時 令和2年〇〇月〇〇日 (〇) 第〇校時
場 所 音楽室
指導者 教諭 〇〇 〇〇

1 題材構想

題材名	歌詞が表す情景や心情を思い浮かべ、曲想を味わいながら表現を工夫して歌おう (教材: 「荒城の月」「早春賦」)		
題材の目標	(1) 「荒城の月」, 「早春賦」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で「早春賦」を歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 <知識及び技能>A(1)イ(ア)・ウ(ア) (2) 「荒城の月」, 「早春賦」のリズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、「早春賦」にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。 <思考力、判断力、表現力等>A(1)ア (3) 「荒城の月」, 「早春賦」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むとともに、我が国で長く歌われている歌曲に親しむ。 <学びに向かう力、人間性等>		
題材の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	① 「荒城の月」, 「早春賦」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解している。 ② 創意工夫を生かした表現で「早春賦」を歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	① 「荒城の月」, 「早春賦」のリズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、「早春賦」にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	① 「荒城の月」, 「早春賦」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
題材終了時の生徒の姿 (題材のゴールの姿・期待される姿)			
これから出会う日本の曲についても魅力を味わい、工夫して表現しようとする生徒。			
題材を通した学習課題		本題材で働かせる見方・考え方	
我が国で長く歌われている歌曲の魅力を味わおう。		音楽に対する感性を働かせ、歌詞、リズム、速度、旋律、強弱等とそれらの働きの視点で捉え、自己のイメージや感情などと関連付けること。	
指導計画と評価計画 (4時間取扱い ※本時3/4)			
時間	学習活動		評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
1	○ 「荒城の月」, 「早春賦」の歌詞を音読したり、歌ったりして、歌詞が表す情景や心情、曲の雰囲気などを学習シートに記入する。 ○ 二つの曲を歌い比べながら、それぞれの音楽について気付いた特徴をワークシートに書く。		【態①】ワークシートの記述・観察
2	○ 「荒城の月」を歌ったり、CDを聴いたりして、リズム(拍子)、速度、旋律(音のつながり方やフレーズ)、強弱を知覚し・感受し、捉えた音楽の特徴をワークシートに書く。 ○ 「荒城の月」について知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽の特徴と歌詞の内容とを関わらせて歌う。		【態①】ワークシートの記述・観察 【思①】ワークシートの記述・発言
3 ※	○ 「早春賦」の歌詞が表す情景や心情を想像して歌う。 ○ 「荒城の月」と対比するなどして、「早春賦」のリズム(拍子)、速度、旋律、強弱を知覚・感受し、「早春賦」の曲想や歌詞の内容を味わい、音楽の構造との関わりを踏まえて曲にふさわしい音楽表現を追求する。		★【知①】ワークシートの記述 ○ 曲の雰囲気や表情、味わいなどが、どのような音楽の構造や歌詞の内容によって生み出されているのかを書いている。 ★【思①】ワークシートの記述・発言 ○ 感じ取った曲想や音楽の構造、歌詞の内容などに触れながら、どのように歌いたいかについて、自分なりの思いや意図を書いている。
4	○ 曲にふさわしい音楽表現となるように学級全体やグループで、発声、言葉の発音、呼吸する際の身体の使い方などを試す。 ○ 思いや意図と発声、言葉の発音、呼吸する際の身体の使い方などの技能との関係を意識しながら、グループや学級全体で歌う。 ○ 題材における学習を振り返る。		★【知②】演奏(歌唱) ○ 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能について学習した内容が歌唱表現に表れているか。 ★【態①】ワークシートの記述・観察 ○ 創意工夫について発言したり、歌い試したりしているか。学習全体を振り返り、自分が学んだことを、学習内容を踏まえて書いているか。

2 題材における系統及び生徒の実態

学習指導要領における該当箇所(内容、指導事項等)				
中学校学習指導要領の第2学年及び第3学年 [思考力、判断力、表現力等] A表現(1)ア, [共通事項] (1)ア [知識及び技能] A表現(1)イ(ア)・ウ(ア)				
教材・題材の価値				
歌唱共通教材「荒城の月」は人の世の栄枯盛衰を歌った曲であり、歌詞の内容、言葉の特性、短調の響き、旋律のなどに特徴を感じ取ることができる。また、「早春賦」は、春を待ちわびる気持ちを表した曲であり、拍子が生み出す雰囲気、旋律と強弱の関わりなどを感じ取り、フレーズや曲の形式を意識して、情景を想像しながら表現を工夫する学習が考えられる。二曲の対比を通して、「早春賦」に対する思いや意図がより深まっていくことが期待でき、我が国で長く歌われている歌曲に親しむことができる題材である。				
本題材における系統				
小学校6学年 旋律の特徴を生かして表現しよう ・歌詞と曲想との関わりに気を付けて歌う。	中学校1学年 日本の歌のよさや美しさを感じ取って歌唱表現を工夫しよう ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。	中学校2学年 曲想と歌詞の内容の関わりを理解して歌唱表現を工夫しよう ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	中学校3学年 日本の歌のよさや美しさを理解して、歌唱表現を工夫しよう ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	
生徒の実態(題材の目標につながる学びの実態)				
■本題材を学習するにあたって身に付けておくべき基礎・基本の定着状況				
調査内容	概ね(6割~8割程度)	十分(8割以上)		
どのように歌うかについて思いや意図をもつことができる。	—	—		
リズム、旋律、強弱などの音楽を形づくっている要素を知覚し、特徴を感じ取ることができる。	—	—		
曲にあった発声の仕方や身体の使い方などで歌うことができる。	—	—		
■本題材の学習に関する意識の状況				
調査内容	よく	まあまあ	あまり	ない
課題解決に向けて、自分で考え、進んで取り組んでいると思う。	—	—	—	—
友達と意見や考えを交流することで、自分の考えを広げたり、深めたりすることができていると思う。	—	—	—	—
音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、捉えたことと自分のイメージや感情、生活や社会、伝統や文化などに関連づけて考えていると思う。	—	—	—	—
■考察 (資質・能力に関して) どのように歌うかについて思いや意図をもつことはできるが、それが音楽を形づくっている要素とその働きに着目した根拠のあるものになっているかについては十分とは言えない。音楽的な見方・考え方を働かせることができる学習活動を位置付け、自分のイメージや感情との関わり、伝統や文化などの音楽の背景との関わりについても考えられるようにする。 (学びに関して) 主体的・対話的で深い学びの視点から学びの状況を見ると、課題の解決に向けて、自分から取り組むなど、主体的な姿が見られ、友達との意見交流により、自分の考えを広げたり、深めたりすることができている。一方で、音楽を通して捉えたことと自己のイメージや生活などを関連付けて考えることについては、十分にできているとは言えない。音楽科を学ぶ意義を実感する学習の工夫が必要である。				

3 指導に当たっての留意点

- 教師の発問・指示や生徒の発言の際に、音楽のどの部分を示しているのかを共有できるよう音楽の可視化を図る。
- 生徒が主張する理由の根拠となる音や音楽に常に戻ることを大切に学習展開の工夫を行う。
- 音楽的な見方・考え方に着目した問いの工夫や学びを実感する振り返りの工夫を行う。

4 本時の学習

(1) 目標 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解し、歌唱表現を創意工夫する。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される生徒の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	13分	<p>1 課題をつかむ</p> <p>①「早春賦」の歌詞が表す情景や心情を想像して歌う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【めあて】「早春賦」の曲想を感じ取って表現を工夫しよう</p> </div> <p>②「問い」について考える。 ◇「荒城の月」と比べて、明るく前に向かっていくような感じがする曲だと思う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【学習課題】 「早春賦」の曲想に合う表現にするために、歌詞の内容や音楽の構造との関わりを踏まえて、どのような表現の工夫をすればよいだろう。</p> </div>	<p>○前時までの学びを振り返ったり、歌詞が表している情景や心情について話し合い、それらを思い浮かべながら「早春賦」を歌うことができるようにする。</p> <p>(「問い」を生み出す手立て等)</p> <p>○「荒城の月」と対比するなどして、「早春賦」の特徴を捉えられるようにする。</p>
展開	30分	<p>2 課題の解決に向けて活動する。</p> <p>①知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて交流する。 <個人→グループ></p> <p>◇曲の始めから滑らかに流れるような旋律で、希望に満ちた感じで歌いたい。</p> <p>②グループで歌い試しながら、「早春賦」にふさわしい音楽表現について考える。 <グループ></p> <p>◇6/8拍子を2拍子で感じながら、伴奏の流れに乗って歌ってみよう。</p> <p>◇旋律が上がっていくときは、春への期待が高まる感じで、スピードに乗って、徐々に強く歌ってみよう。</p> <p>③表現の工夫についてワークシートの楽譜に書き込む。(特に表現を工夫するポイントを記入する。)</p> <p>④学級全体で歌い試しながら、音楽表現について共有する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【期待される学びの姿】 感じ取った曲想や音楽の構造、歌詞の内容との関わりなどを基に、歌い試しながら、どのように工夫して歌うかについて、思いや意図を書いている。</p> </div>	<p>○前時までのワークシート等を振り返って「荒城の月」と対比したり、楽譜(旋律、歌詞、記号など)を手掛かりにしたりするようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【具体的評価規準】知①</p> <p>○ 曲の雰囲気や表情、味わいなどが、どのような音楽の構造や歌詞の内容によって生み出されているのかを書いている。 (方法：ワークシートの記述)</p> </div> <p>【到達していない生徒への手立て】</p> <p>○2曲の雰囲気の違いなどについて対話しながら、速度を変えた演奏を聴かせるなどして、雰囲気の違いが音楽を形づくっている要素の働きによって生み出されることに気付けるようにする。</p> <p>○知覚したことと感受したこととの関わりについて考えたことを基に意見を交流しながら、拍子の感じ方、速度、強弱などを様々に歌い試すよう促す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【具体的評価規準】思①</p> <p>○ 感じ取った曲想や音楽の構造、歌詞の内容などに触れながら、どのように歌いたいかについて、自分なりの思いや意図を書いている。 (方法：ワークシートの記述・発言)</p> </div> <p>【到達していない生徒への手立て】</p> <p>○「荒城の月」との雰囲気の違いなどを基に、生徒とともに速度やブレスの位置を変えて歌うなどしながら、「早春賦」から感じ取った雰囲気にふさわしい表現について対話し、思いや意図がもてるよう促す。</p>
終末	7分	<p>3 表現の工夫を生かし「早春賦」を歌う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【まとめ】春の爽やかな感じを表現するために、2拍子を感じて伴奏の流れに乗って歌う。 ・春への期待の高まりを表すために、旋律が上がっていくにつれて徐々に強く歌う。等</p> </div> <p>4 学習したことを振り返る。 ◇曲の特徴を捉えて、「早春賦」にふさわしい表現を工夫することで、より表現が豊かになった。</p>	<p>○生徒の表現の工夫を基にまとめ、それを生かして歌うよう促す。</p> <p>○振り返りの視点を示し、最初の曲の捉えからどのように変わり、表現の工夫につながったかについて自覚できるようにする。</p>

【板書計画】

めあて

「早春賦」の曲想を感じ取って表現を工夫しよう

【学習課題】

「早春賦」の曲想に合う表現をするために、歌詞の内容や音楽の構造との関わりを踏まえて、どのような表現の工夫をすればよいだろう。

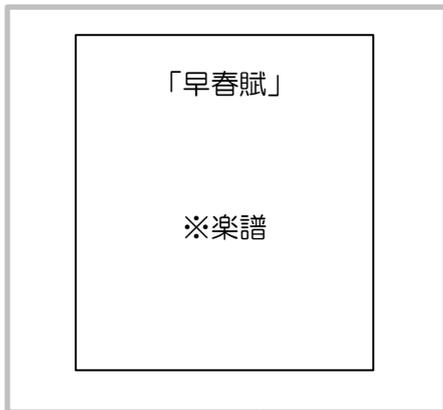
◎2曲の特徴について

	荒城の月	早春賦
歌詞	栄枯盛衰の様子	春を待ちわびる様子
拍子	4 / 4	6 / 8
速度	ゆったり	速い
旋律	緩やかに進む感じ…	上ったり下りたり
強弱	3段目に変化がある	同じ歌詞のところに強弱の変化がある

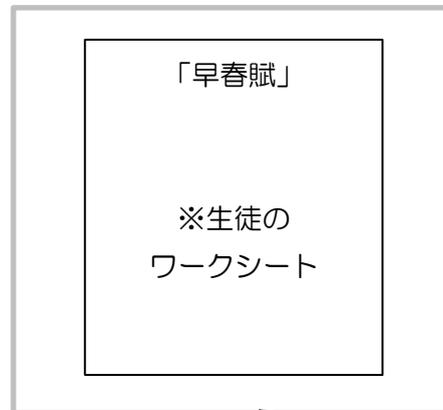
同じ歌詞を繰り返す旋律のところは、速度や強弱を変化させることで、期待と残念な気持ちを表していると思うので、特に強弱を生かして歌う。等

【ICT活用計画】

例：楽譜を電子黒板で提示し、表現の工夫について書き込んだ楽譜を全体で共有しながら歌唱表現ができるようにする。



全体で、楽譜（旋律、歌詞、記号など）を手掛かりに曲の特徴を捉えられるようにする。



表現の工夫を記入したワークシート（楽譜）を電子黒板に写し、全体で共有する。

【題材構成の工夫】

例：「荒城の月」と「早春賦」の2曲を対比することで、曲の理解を深め、音楽表現を追究する構成。

歌唱共通教材から2曲を扱い、2曲の対比により曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解を深め、さらに表現の工夫に生かす学習活動を設定し、日本の歌曲のよさについても迫ることができるように構成した。